

市民参加でまちを変えよう！



# 杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会会報

向日市寺戸町辰巳4-1  
中嶋荘 101号室  
TEL/FAX : 932-1325  
<http://sugi.pupu.jp>

## 市民参加のまちづくりをめざし 「杉谷さんとともにまちを創る会」 新たにスタート！



7月の向日市議会議員選挙で杉谷伸夫さんが新しく市議会議員になったことを受け、「杉谷さんとともにまちを創る会」は、杉谷さんの議員活動と連係して、「市民参加のまちづくり」を考え、提案し、取り組んでいく市民団体としてあらためてスタートすることになりました。

- ①市民のために働く議会
- ②市民が使いやすい市役所
- ③市民の願いが実現するまちづくりをめざし、取り組んでいきます。

### ①「市内巡回バス」 —市民の願いを実現しよう

市民の足として市内の主要な公共施設や駅をつなぐ「市内巡回バス」を望む多くの市民の声で、過去2度にわたって請願が議会で採択されましたが、市は巡回バスの実現に全く動こうとしてきませんでした。今ようやく「向日市公共交通検討委員会」が市民の公募委員も入れて発足しました（8月25日に第一回会合）が、これは巡回バスをどうやって実現するかを検討する場とはされていません。目的は「生活交通のあり方や課題を協議する」となっています。これではいつまでたっても巡回バスは実現しそうにありません。私たち市民の要求は単純明快です。車やバイク、自転車などで市内を自由に動き回れない年代層を主な対象に、市内の主要施設に行けるように巡回バスを走らせてほしい、というものです。問題をぼかしてはいけません。市民

の要求をいかにすれば実現できるかを検討すべきです。

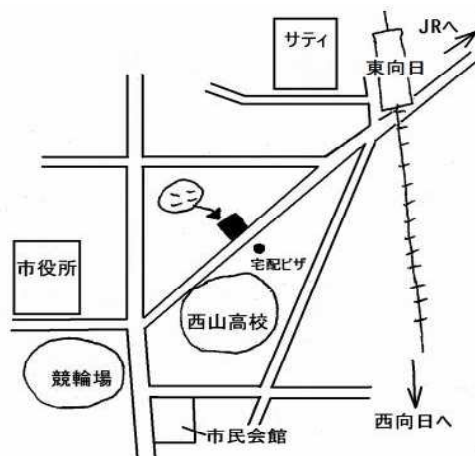
### ② 歩道や生活道路の計画的整備を！ 独立した整備費の予算化を！

向日市の狭くて危険・劣悪な生活道路が、すぐに改善するとは誰も思っていません。しかし私たち市民が不満に思うのは、「このように良くしていく」という姿勢、将来像が見えないことです。市民の改善要望に基づく整備事業に応えられるような予算化をおこない、計画を公開

## 9/10(土) 定例会

※毎月第2土曜日が定例会。飛入り参加歓迎！

- 日時 9月10日(土) 午前10時～12時
- 場所 杉谷ひろば



し、市民に見える形で実施していくことが大切ではないでしょうか。

また整備の実施にあたっては、障がい者など当事者の意見が反映されるよう求めます。

### ③ 一日も早くJR向日町駅のエレベータ設置を！

昨年1月、私たち市民の請願が採択されたことを受け、向日市はJR向日町駅の橋上駅舎化の計画を中止し、エレベータの設置を急ぐことに方針転換しました。あれから1年8カ月、どうなっているのか、さっぱり市民には伝わってきません。いつになったらエレベータはできるのでしょうか？本当にできるのでしょうか。

議会での市の説明では、JR西日本の検討は進んでおり、この9月にJRが国に補助事業の申請を出すとのことですが、大震災で国の予算が厳しくなっている状況で、本当に国からの補助が出るのか、事業は予定通りに進むのか、私たち市民は心配しています。またエレベータ設置案の基本構想図くらいは、私たち市民に見せてほしいものです。だってエレベータ設置事業費の83%は私たちの税金なのですから。

### ④ 原子力発電に頼らない社会を！ 原発依存の関電以外から電気を 購入し向日市の電気代削減を！

原発はひとたび事故が起これば、取り返しのつかない事態になることを私たちは経験しました。そこで、①少なくとも現在停止中の原発の運転は再開させない。②原発に頼らない社会を作る、以上のことが必要です。

原発に頼らない社会をめざし、かつ向日市の電気代節約の手段として、原発に依存している関西電力以外の電気事業者から電力を購入することを向日市に提案しています。

実は電力自由化によって、一定規模以上の事業所では電力会社以外から自由に電気を買うことができるようになりました（現時点では一般家庭は無理）。経産省などは率先して電力会社

以外と契約しているし、大阪府や京都市など主要自治体でも、入札によって関西電力以外の電気事業者から安く電気を購入しています。条件が合えば、10～20%の電気代削減が可能と言われています。向日市でもぜひ実施してもらいたいと思います。

### ⑤ 放射能から子どもを守ろう！ 学校給食の放射能チェックを！

この間、全国各地で放射能汚染された牛肉が見つかりました。また福島原発から200キロ近くも離れた岩手県陸前高田市の松の薪からもセシウムが検出されました。福島原発事故で莫大な量の放射性物質がばらまかれ、全国各地に降り注いでいるのですから、当然のことです。あるゆる場所が、あらゆるものが放射能汚染されていることを私たちは改めて知らされました。肝心なことは、高濃度に汚染されているものを知り、それを避けるということです。

それなのに、子どもたちの食べる食材の放射能検査が一切されていないのは、どうしたことでしょう。子どもは放射能に対して大人の十倍も敏感です。低線量でもできるだけ避けるべきです。現在の放射能汚染に責任のない子どもの被曝だけは避けるよう最大限の努力をしてほしいものです。

そこで、向日市には以下のことを直ちに実行するように求めたいと思います。

- ①放射能測定器を購入し、子どもの遊び場などを定期的に測定し結果を公表すること
- ②保育所・学校の給食食材の放射能検査をおこない、測定結果を公表すること



# 会員の声

## ボランティアの力！

杉谷さん、当選よかったですね。「地盤・看板・かばん」が無かったですのに当選出来たのは、ボランティアの力だったと思います。何人の人がかかわったのでしょうか。

10日～17日は今年になって一番暑い時期でしたから、汗だくの人々の顔が浮かびます。これから4年間の議会通信、楽しみです。議会がいかにくだらしないことをしているかという事も報告して下さいね。(Y)

## 歩道をみんなで点検してみる機会をまた作って！

議員になられた杉谷さんに、向日市をより生活しやすい街にしてほしいと思います。そのために私が一番望むのは道路、特に歩道の整備です。向日市は坂がある上に歩道は狭く、また車道側に傾斜していて、車いすの者にとってはたいへんです。

一つの例として、社会福祉会館の北の物集女街道の歩道は、新しく建築される住宅のための道路が歩道を横切って作られたため、車道側に大きく傾斜がついてしまいました。歩道の傾斜や、車道から歩道への段差を少なくし、スムーズに傾斜をつけてほしいです。歩道をみんなで回って点検してみる機会を、また作って下さい！(K)



## 住民票などを取りやすくしてほしい

議会の在り方を変えて欲しいと思います。それと、サンフラワーガーデンとアスク保育園の前の道を、朝と夕方に通行規制をして下さい。抜け道なので、危ないです。私も毎日危険な目に会っています。それから、働く人のために住民票などを取れる日を、月に一度くらい設けるべきです。これは市民の願いです。京都市のように主要な場所にそうした取扱所を作るのも大切です。もうひとつお願いがあります。私のようなCRPS（複合性局所疼痛症候群）の患者を特定疾患に認めるよう国に働きかけて欲しいのです。医療費がたくさんかかります。同じ悩みの市民がいると思います。(Y)



## 議会を市民の力で変える！

杉谷さんがいつも言っていた、「こんな議会では駄目、議会を市民の力で変える」というワクワクする運動が始まるのだと思います。私は、特に脱原発に向けた具体的な動きを向日市議会で作って行きたいと思っています。今、政府や電力会社はいまだに原発を存続させようとしています。私には正気の沙汰とは思えません。一緒に頑張りましょう。(N)

## 放射能汚染から市民を守る取り組みを！

市議選の時、道端で野菜を売っておられた婦人と話をしました。新鮮でつやつやした野菜で、もう何十年も売っておられるそうです。その時、杉谷さんの政策の1つである原発問題について話をしました。

向日市は福井の原発から60キロしか離れておらず、もし事故がおきたらこの野菜も被害を受けるのは間違いありません。その方は、あまり心配はしておられないようでしたが、セシウム汚染牛の拡大やお米への影響などを考えると、ますます大事な問題になってきていると思います。ぜひ、杉谷さんには向日市も脱原発を宣言し、放射能汚染から市民を守る取り組みをがんばってほしいと思います。(S)

# 杉谷伸夫の 議会報告

(2011年 8月)

8月10日、新しい市議会議員の任期の初日に臨時市議会が開かれ、議長ほか役員などの選出と、各議員の所属委員会などが決定されました。

## 議会改革に全力で取り組みます！

私は、「総務常任委員会」と「議会活性化特別委員会」に所属することになりました。「議会活性化特別委員会」では副委員長として、私の最大の公約である「議会改革」を精力的に進めて行きたいと思っています。「市民に見える議会」「市民のために働く議会」をめざします。

また、特別委員会としてもうひとつ「競輪場対策特別委員会」が設置され、向日町競輪場の存廃問題について議会での議論・検討が本格的に始まる見込みです。

議会の定例会は、8月31日から開会予定です。向日市議会は、年4回、3・6・9・12月に定例会が約1カ月間の会期で開かれます。本会

議の一般質問で、一人1時間、市政に関する様々な問題を取り上げて質疑ができます。

私は、会報の今号で取り上げられたテーマについて、市長に対する質問の準備を進めています。ぜひ議会の傍聴にきてください！（一般質問は9/12～14の日程ですが、残念ながら各議員の順番等詳細は一週間ほど前にならないとわかりません）

その他、会員・市民のみなさんから、取り上げてほしい問題やご意見があれば、ぜひご連絡ください。たとえ今議会に間に合わなくても、今後の議会で取り上げてゆきます。

## 市民クラブを結成しました！

私は、社民党の飛鳥井佳子議員と2人で「市民クラブ」という会派を作りました。新しい向日市議会の会派は以下の通りです。

日本共産党（6人） 新政クラブ（6人） 公明党（3人）  
市民クラブ（2人） 無会派：3人

※私は、会派に所属する議員を優先し無会派議員を「冷遇」する運営には反対です。この問題については機会があるごとに議会内外で問題提起していきたいと思います。

## 連載 ポイント解説

# 向日市の歴史

鈴木 健弘

## 第1回 乙訓の名の由来

山城国の乙訓郡（おとくにごおり）の名前は弟国から由来し、対する兄国（えくに）は丹波にあった。古書によると、山崎、鞆岡（ともおか）、長井、大江、物集（もずめ）、訓世（くぜ）、榎本、羽東（はずかし）、石作（いしつくり）の九郷からなる。これは桂川流域

西側から西山大地に及ぶ一体で、奈良時代から『おとくに（弟国）』～乙訓と呼んでいた。

この名には『古事記』記載の垂仁天皇の語源伝説がある。垂仁天皇がヒバス姫命、オト姫命、ウタゴリ姫命、マトノ姫命の4人を召し上げられたが、そのうちヒバス姫命とオト姫命だけを残され、あとの二人は容姿がよくなかったので親許へ送り返された。そこでマトノ姫命は「同じ姉妹の中でも、姿が醜いから戻されたということが近所に聞こえると、まことに恥ずかしい」といって、山城の相楽（さがら）で首を吊って死のうとし、オトクニ（弟国）に到着した時、ついに険しい淵におちて亡くなった。そこを名付けてオチクニ（墮国）と言ったことから、オトクニというようになったという。